



インスピレーションになるう



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長 パリー・ラシン

長井ロータリークラブ会長	遠藤 伴明	第2800地区ガバナー	上林 直樹
幹事	那須 修	第6ブロックガバナー補佐	高橋 眞己
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	(横澤寿彦 伊藤克也 村田剛 中島浩 土屋茂樹)

## 【1月・特別月間】職業奉仕月間

例会報告 No.20 (通算 第2772回) 2019年(平成31年)1月29日(火)号

## 次回例会(2月5日)

◎ゲスト卓話 例会場 PMO:15  
働き方改革法ぬついて  
社会保険労務士法人 堀越事務所代表社員  
所長 堀越俊一郎 氏

## 次々例会(2月12日)

◎休会 11日(祝日・建国記念日)による

## 前回例会の報告

## (ゲスト紹介)



やまがた長井観光局  
事務局長 丸山邦昭氏

## 会長の時間(挨拶)

副会長 伊藤克也

皆さんこんにちは。

まず初めに、今日のゲスト丸山様におかれましては、当クラブ元会員の逝去により日程を変更して頂き、改めて例会にお越しいただきましたこと感謝申し上げます。

本日は、当クラブの年間行事のひとつであります「英語弁論大会」が生涯学習プラザにて行なわれております。そちらの方へ遠藤会長と土屋会員が副幹事として



出席の為欠席です。大山エレクトにゲストの先導をお願いした所です。私も社会奉仕・青少年育成担当理事を仰せつかっていますので、弁論大会へ出席するものと思っておりましたが、会長が留守の場合は、

副会長が例会をしっかりと務めるようにとの事でしたので、初の「会長挨拶代行」となります事ご了解いただきたいと思ひます。

私の場合は、スキーのインストラクターとパトロールという二刀流でこの時期は活動をしています。ゲストの丸山様の前でお話をするのは、大変恐縮ですが、観光(地)としてのスキー(場)について、少しお話をさせていただきます。

山形県には、蔵王(ライザ)をはじめとして、国内には多くのスキー場があります。ニュース報道等による温暖化や暖冬の影響からか、先月末のオープン時は雪不足と言われておりましたが、このところの降雪により例年並みの積雪量になりました。しかしながら、スキー場への入場者は、ピーク時に比べて7割減となっている様です。シーズン中の集客に加えて、冬期以外(春から秋、月山の志津温泉は逆に冬季)の集客に努力を重ねているスキー場が多いのも事実です。海外からの観光客への対応(言語)も現場のスタッフに求められており、その方策も今後重要となっております。集客と同じく、スタッフの確保も大事な案件となっております。かつては、農業に従事されている方が冬場にスキー場へ住み込みにて宿泊施設の業務に従事するという形態もありましたが、兼業が増えた事やそもそも

若い方がスキーをしない他の仕事（会社務め）が多い事など色々な理由が挙げられます。

私もスキーに関わる者の一人として、いくらかでもスキー場へ足を運んでもらえる様に頑張っていかななくてはならないと思っています。

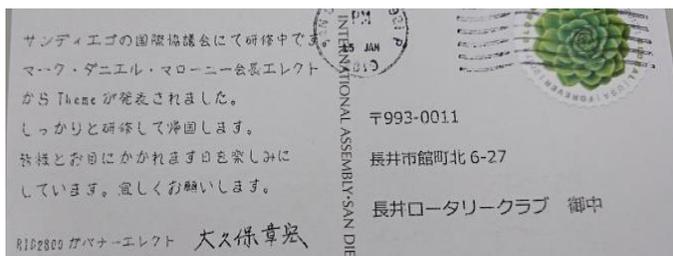
丸山様、本日はよろしくお願ひします。

### 幹事報告

幹事 那須 修



〇大久保章宏ガバナーエレクトよりエアメールが届きました。



次年度のIRテーマ

“ROTARY CONNECTS THE WORLD  
ロータリーは世界をつなぐ”

〇公益法人ロータリー日本財団、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より寄付金に関する税額控除証明書が届きました。

### ニコニコBOX

寒河江良一会員

- ・伊藤克也副会長 ゲスト丸山様を歓迎します。
- ・那須修幹事 丸山様、本日はお忙しいところ卓話を頂きありがとうございます。
- ・手塚典雄会員 ゲストを歓迎して新年会ドタキャンしました。
- ・村田 剛会員 ゲスト丸山さんを歓迎して
- ・小笠原信吾会員 ゲスト丸山さんを歓迎して



BOX ありがとうございます。

本日金額： 6,000 円  
累計金額： 158,500 円  
(達成率 22.6%)

### 出席報告

中島 浩委員

- 〇本日の会員数27名、全出席数22名で出席率は81.48%です。
- 〇前々回（1月8日分）の出席率は、92.31%に確定します。

## (英語弁論大会)

同日、青少年奉仕事業の「英語弁論大会が開催された。以下、報告。

### 第45回 長井ロータリークラブ杯 英語弁論大会

日時：平成31年1月29日(火) 9:00~

会場：長井市 置賜生涯学習プラザ 1F 舞と音楽のホール

#### 1 次 第

- |                    |            |      |
|--------------------|------------|------|
| (1) 開会の挨拶          | (7) 中学校の部  | Ⓐ 暗唱 |
| (2) 長井ロータリークラブ会長挨拶 | (8) 高等学校の部 | Ⓐ 暗唱 |

長井RC杯  
長井ロータリークラブ  
(RC)杯英語弁論大会が

29日、長井市の置賜生涯学習プラザで開かれ、西置賜地域の中高生が練習の成果を披露した。

暗唱の部に中学生16人、高校生3人が出場し、発音や表現力を競った。生徒たちは身ぶり手ぶりを交え、表情豊かに発表した。同RC(遠藤伴明会長)が地域貢献の一環で毎年開催している。成績は次の通り。



中学の部で1位となった勝見くるみさん(長井北)





★英語弁論大会 結果

- 中学校 暗唱 (16名参加)
- 1位 Katsumi Kurumi 長井北中学校
- 2位 Saito Eito 白鷹中学校
- 3位 Takahashi Riku 小国中学校
- 4位 Takahashi Mao 長井北中学校
- 5位 Sato Shunsuke 長井北中学校
- 6位 Igarashi Haruka 白鷹中学校
- 高等学校 暗唱 (3名参加)
- 1位 Iizawa Rika 長井高等学校
- 2位 Sato Shuhei 長井高等学校
- 3位 Sonta Ryuya 長井工業高等学校

※おめでとうございます。地域・国際社会で羽ばたいてください。長井RCで一番長く継続されている主要事業です。これからも開催してまいります。!

(ゲスト卓話)

やまがた長井観光局事務局長 丸山邦昭氏



やまがた長井観光局の取組み  
～長井のまち歩きから観光を探る～

2019年1月29日  
やまがた長井観光局

長井といえば、まち歩き!

・観光ボランティアガイド

「ながい黒獅子の里案内人」 \*平成12年度設立

ボランティアガイドのガイド実績(H18～H29)



(実績は増加している)

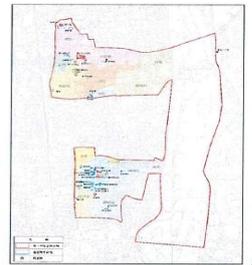
平成19年～ まち歩きの原点は「やまがた花回廊キャンペーン」



(紹介・3/9 ひめめぐり、石巻、福島からも参加)

重要文化的景観  
『最上川上流域における長井の町場景観』  
平成30年2月13日選定

山形県内を南北に貫流する最上川の上流域において、農山村部を後背地とした交易による人や物などの流通・往來の地として、また、置賜地方西部における政治や経済的な機能を持つ町場として成立した文化的景観。



東北では  
・遠野市荒川高原牧場土淵山口集落  
・関本寺の農村景観  
・大江町左沢  
全国の重要文化的景観は58件(平成29年12月現在)  
長井市が選定を受け、61番目

(文化庁より、景観の国宝ともいわれる選定を受ける。葛飾柴又も同時期選定)

長井市の観光の課題

- ・ イベント観光中心
- ・ 受け入れ体制・仕組みづくりが不十分  
→観光産業が成り立ちにくい
- ・ あやめ公園、白つつじ公園を訪れる観光客の減少
- ・ 中心市街地の衰退
- ・ 観光に関心の薄い市民、観光地という認識がない
- ・ 取り組みがバラバラで集客につながらない
- ・ 観光振興策が見いだせなかった

(市民の関心が薄い。長井の良さを知ってほしい。)

長井市観光振興計画の概要

- ・ 平成25年3月策定
- ・ 清水慎一先生を委員長とした策定委員会の立ち上げ
- ・ 平成23年度から2年間で計画を策定

<観光地域づくりプラットフォームが担う役割>

- 受け入れの仕組みを作る  
(観光地域づくりプラットフォームの構築、情報の効果的な発信)
- 着地型(滞在交流型)観光のプログラムと体制をつくる  
(資源の発掘とプログラム化、体験観光づくり、おもてなしの体制づくり)
- 地域の資源を魅力あるものに高める  
(長井らしさ、地域を自慢できるものに磨きあげ、環境整備)



交流人口を増やす  
(地域内の消費を増やす)

(人口減少対策)

# 長井市観光振興計画の要点

## 【要点】

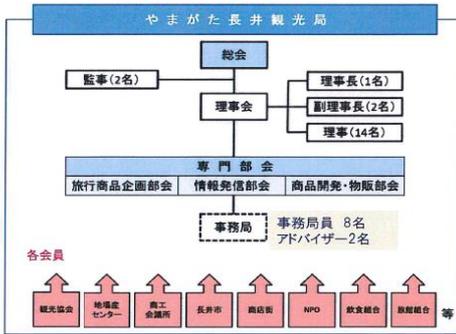
- ①「70万人しか観光客が来ない」と嘆くのではなく、**どれだけ地域にお金を落とすか**、という考えにシフト。
- ②行政や観光協会、商工会議所、各事業所等の**垣根を壊すこと**。
- ③**今ある資源を活かすこと**。
- ④各団体が、「協力する、させる」から「**協働する**」へ。
- ⑤その上で、**オール長井**の組織化を図ること。
- ⑥**旅行業**は不可欠。
- ⑦**ワンストップサービス**も不可欠。行政情報以外のすべての情報を一元的に知ることができるようにHPや窓口等を整備。  
(道の駅はなくてはならない施設として誕生)

## やまがた長井観光局について

任意団体として発足

(平成28年3月設立)

- 規約に基づき、会員を募って運営
- 組織体制について
- 旅行業第3種登録

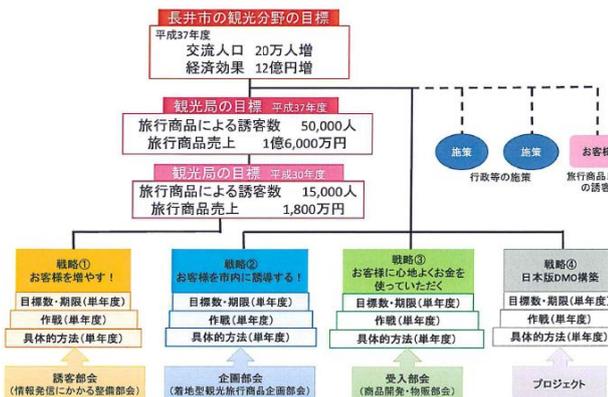


(市は計画で終わる。観光局は計画実施できる。)

例 下記 酒蔵巡りと新酒披露宴



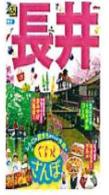
## 観光局の目標における全体像



## 観光局の事業計画について

### 1. 情報発信・プロモーション

- (1)観光ポータルサイトの運営(市内観光情報の一元化、各団体のイベント情報の発信)
- (2)パンフレット、ガイドマップ等の制作(既存パンフレットの整理と制作・るぶ地域特別版制作)
- (3)TV、ラジオ等の情報発信
- (4)視察等の受入



### 2. 滞在交流型旅行商品の企画実施

- (1)滞在交流型旅行商品企画事業(部会等を通じて、多くの市民、団体を協働で旅行商品を開発)
- (2)実施、受入体制の整備(各事業者と連携し、実施・受入体制の充実を図る。)
- (3)地域の人材育成(市内事業者向けに接客等の研修を行い、観光事業を担う人材を養成する)
- (4)各種観光事業との連携強化
- (5)関係団体等と連携し、既存の観光事業を活かした滞在交流型旅行商品を企画し、既存観光事業の盛り上げを行う。
- (6)広報と顧客満足度向上対策(旅行商品購入者にアンケートを実施、フィードバックして満足度の向上を図る。)
- (7)既存広域観光を活用した商品の企画(近隣市町や交通機関、関係団体と連携し、広域的な旅行商品を企画する。)

### 3. 地域資源を活かした特産品の開発と販路拡大

市内菓子店連携し、ストーリー性のあるお土産を開発する。

### 4. 誘客宣伝に関する営業活動の強化

- (1)営業推進活動
  - ①旅行会社との連携の強化
  - ②旅行商談会等の活用と、キャラバンや交流都市でのイベントへの参加
- (2)旅行商品造成促進活動

### 5. 会員サービスの提供と会員の拡大

- (1)会員への情報提供と連携体制の整備
- (2)新規会員の加入促進

## やまがた長井観光局 貸切バス補助金について

### 補助金の概要

やまがた長井観光局では観光客の誘客強化を図るために、長井市への貸切バスを利用した旅行を企画、実施する旅行会社様に対して補助金の交付を予定しております。

※実施期間(予定) 平成30年4月1日～平成31年3月31日

※補助金額(予定) **貸切バス1台当り 50,000円**

(但し1申請当り50万円を上限予定)



- ・参加人数が貸切バス1台当り20名(実績)以上であること。(添乗員、乗務員除く)

### 補助金支援要件

・旅行業者、貸切バス事業者が山形県外のエリアであること。または、山形県内の旅行業者、貸切バス事業者で、貸切バス出発営業所より長井市まで、最短距離が片道おおむね100km以上の距離がある行程であること。

・長井市内の有料見学施設等を2箇所とその他1箇所以上又は、有料見学施設3箇所以上を組み入れた旅程であること。

(例 フラワー長井線 + 長井市内昼食 + 道の駅立寄り)

(市、100台500万円補助金)

## 平成29年度やまがた長井観光局の成果

項目	H29	H30.4~11
滞在交流型旅行商品催行人数(おらん旅)※	337人	181人
タイアップ型旅行商品催行人数 ※	2,581人	5,636人
受注型旅行商品催行人数 ※	75人	111人
手配型旅行商品催行人数 ※	527人	83人
バス誘客強化事業誘客人数(台数)	3,141人(94台)	4,100人(73台)
道の駅立寄りによる催行人数(台数)	4,961人(146台)	6,370人(189台)
観光循環バス(土日祝運行)	3,226人(3台運行)	2,034人(2台運行)
レンタサイクル(4月～11月まで)	276人	439人
食・菓子クーポン	525	186
まる得クーポン販売数	798	
旅行商品等による観光客誘客数 計	延べ16,447人(実数12,188人)	
(※旅行商品等による売上)	(11,817千円)	(10,177千円)
ポータルサイト・アクセスログ	177,779件(年)	155,674件
長井の類・菓子本販売数	1,789冊	冊

(タイアップ型が増えている)

## やまがた長井観光局の位置付け

- ・ 旅行商品販売による市内への誘導
- ・ フリー客を市内に誘導
- ・ 団体誘導施策の構築と実施(バス補助、駅立寄り)
- ・ 団体誘導のための営業活動
- ・ 市内事業者の受入態勢の確立
- ・ 問い合わせのワンストップ化
- ・ 二次交通の整備(循環バスとレンタサイクル)
- ・ 観光ポータルサイトの整備
- ・ SNSは、ブログとインスタをメインに
- ・ 情報の蓄積と発信
- ・ ワイファイ整備
- ・ マップ、パンフ、情報誌の制作

### 市内誘導施策①

- ・ 滞在交流型旅行商品の催行
- ・ タイアップ型旅行商品の催行
- ・ タイアップ型旅行商品内のクーポン券活用
- ・ 団体獲得のための営業活動
- ・ 観光案内による誘導
- ・ ポータルサイト、観光パンフ、マップによる誘導
- ・ 道の駅設置のディスプレイによる誘導
- ・ 動画による誘導
- ・ 観光循環バスとレンタサイクル
- ・ まる得クーポン企画による誘導
- ・ 長井の麺・菓子 本による誘導

### 市内誘導策②

- ・ 食・菓子クーポンによる誘導
- ・ フードコート内菓子ケースによる誘導
- ・ 菓子店主パネルによるPR誘導
- ・ 積極的に視察受入
- ・ マスコミ等受入
- ・ 団体バス向け補助金の整備
- ・ 道の駅立寄料の整備

### まちなか誘導のアイテム(市内菓子店商品ショーケース販売・スイーツ新)



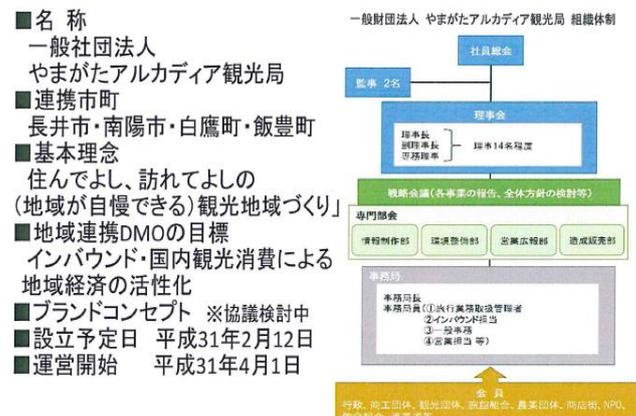
## 今後のやまがた長井観光局

### 地域連携DMO設立に向けて

- ・ 任意団体から社団へ、観光庁登録(日本版DMO登録) 単独DMOから地域連携DMO(長井・南陽・白鷹・飯豊)へ
- ・ 旅行業3種から2種への切替
- ・ 魅力ある旅行商品の造成
- ・ 積極的な営業活動の実施
- ・ 収益事業の確立
- ・ 戦略の立案と多様な関係者との共有
- ・ 提供するサービスの維持向上、評価する仕組みと体制の構築
- ・ 一元的な情報の発信とプロモーション
- ・ 観光を活用して地域の課題を解決する組織に

(地域連携へ、旅行業3種→2種 国内旅行)

### 地域連携DMOの構築について



(人口減対策、1泊2日から2泊等対応プラン)



○ 伊藤副会長より謝辞

以上